

2012年 年頭ご挨拶 「楽しい登山を」

山なかまシリウス 代表 坂井 康悦

新年 明けましておめでとうございます。
皆様にはお健やかに新春を迎えられたことと
心よりお慶び申し上げます。

昨年の3. 11には、東日本大震災が発生し、
大地震は津波と原発事故を引き起し、東北地方
を中心に未曾有の被害をもたらしました。夏に
は大型台風が、主に南紀を襲いました。創作四
字熟語で「天威無法」と言わしめました。

広く世界に目を転ずれば、東南アジアに大洪水の発生があり、中東の政変で政権が民衆の力で打倒され、新体制への道は今なお遠く という国々があります。国内のみならず海外においても、かくのごとく多方面に互り千変万化の世の中です。正に、老子曰く「道の道たるべきは常（かわら）ざるの道にあらず」常住坐臥 変化しております。人の身体においても「年年歳歳花相似たり、年年歳歳人同じからず」でこれまた日々に変化していることは当然の事です。

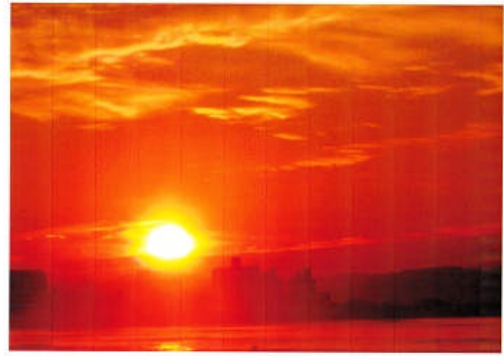
山へ登る人は、比較的時間に融通がつく、中高年の方とと思っていましたが、昨今は「山ガール」なる言葉があるように、若い人々が山へやってくるような気がします。気持ちの上で自然回帰というのか、人々が自然に思いをはせる時間を持つことは大変に喜ばしいことと思います。余暇時間の許す中高令者の山歩きは、気持ちだけは若く、身体能力の過信が盲点になると思います。生身の身体、加齢により体力は間違いなく、前への一歩より現状維持が精一杯で、後退へ一歩を踏み出していないかと、大変僭越ながら、常に自ら検証する必要があります。

本年は山登りの派生活動としての新企画をシリーズで企画しております。企画の発表が待たれますが、是非、多くのメンバーのご参加をお待ちしております。

身体に自信のあるメンバーには、新たなより高い目標を持ち、技術の習得への企画も用意します。奮ってご参加下さい。より高い所への挑戦は大きな達成感を得、気持ちの上でも身体においても若さを保つ秘訣と思います。

元旦には元旦らしく気迫が胸に満ち満ちて、元朝の太陽の気と一体となって、今年も元気で行こうと考えます。

山へ登る考えには、各人各様がありますが、安全登山を第一とし、皆さんがより活発に、より多くのメンバーと一緒に楽しい山行ができますよう祈念し、年頭の所感と致します。



(湘南・江の島の初日の出)